

真養だより

題字: 中学部1年 工藤 愛美 さん



「令和5年度のPTA活動を振り返って」

北海道真駒内養護学校PTA会長 北條 俊介

今年度、早いものでPTA会長3年目を迎えました。コロナ禍に前会長からバトンを受け継いだ1年目は、右も左もわからずあっという間に過ぎたのを思い出します。

今年度は新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられたこともあり、7月には全国肢体不自由PTA連合会栃木大会、10月には道特P連合同大会帯広大会が開催され、私は帯広大会へ参加させていただき多くの出会いと学びがありました。多くの方と出会う中で人と人が顔を合わせることの重要性を改めて感じました。また、障がいのある子どもを持つ親やそこに関わる人との輪は非常に重要だと感じさせられました。



昨今PTA組織の存在意義が問われている中ではありますが、PTA会長をやってみて、学校は公の機関でありできることとできないことがあるため、学校をサポートする意味でもPTA組織は必要不可欠であると感じております。また、去年は猛暑で本校でも臨時休校となり、それを受けて道特P連として北海道教育委員会へエアコン設置への陳情を行いました。こういった大きな課題も組織がなければ難しいでしょう。

すべては子どもの為にあるのです。これからも微力ではありますが子どもの為に尽力させていただきます。ただこうと思います。また、多くの父兄の皆様にご支援いただきこれまで運営してきました。これからも何卒お力を貸していただければありがたいです。令和6年度もよりよいPTA活動を行えるよう携わっていきたいと思います。

令和5年度 PTA 活動報告

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類になりました。引き続き、感染症対策を行いながらですが、少しずつ活動が広がってきました。令和5年度の活動について、各コーディネーターからの報告をお伝えします。

「環境活動」

今年度の活動内容は、ガラス拭き・イエローレシートの活動を行いました。

ガラス拭きにつきましては1回目は9月22日(金)、2回目は2月16日(金)に実施しました。皆様のご協力のおかげでとてもスムーズに進み、無事作業が終えることができました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。



平成25年から参加させていただいているイオンのイエローレシートの活動につきましては、ありがたいことにたくさんの商品を購入させていただきました。今後も引き続き、イエローレシートの活動でのご協力をどうぞよろしくお願いします。



今年度も保護者の皆様には、活動へのご協力ご理解をいただき、ありがとうございました。
(小学部3年P 大田 有希)

「広報・防災活動」

今年度の広報活動では、「みんなの広場」と「真養だより」を発行しました。みんなの広場第1号では、個人情報に配慮し事前に氏名の掲載について各ご家庭に確認させていただきました。また、「SNS等の情報発信はなさらぬように」とお知らせを加えての発行としています。発行にあたり、構成など担当していただきました先生方に感謝いたします。次年度以降も、個人情報保護などに配慮しつつ、皆様の良い思い出となるような広報誌を作成していきたいと思います。



防災活動では、コロナ禍以降数年ぶりの試食会を実施予定でしたが、防災食の価格が高騰しており、商品の入れ替えのみとなってしまいました。次年度に試食会が行えるよう、予算など調整していきたいと思います。今年度も保護者の皆様、先生方には活動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございました。
(中学部1年P 工藤 理奈)

「研修活動」

今年度は4年ぶりに福祉事業所見学会を開催することができました。

見学させていただいた事業所は、障がい者支援施設「あゆ夢」と生活介護事業所「愛らんど」を運営する社会福祉法人札幌会ぴあとぴあ17という、

卒業生も利用している福祉事業所でした。当日は、担当の方から事業所の概

要や特徴、活動内容等の説明があり、実際に利用されている方々の仕事や活動の様子および生活する施設を見学することができました。今後も皆様のご意見や要望を取り入れながら、福祉事業所見学会を企画していきたいと思います。

(高等部2年P 野澤 亜希子)



「第55回北海道・東北地区特別支援学校肢体不自由教育校長・

P T A会長合同研究協議会（宮城大会）」

6月20日（火）に、北海道と東北地区の肢体不自由特別支援学校の校長とP T A会長が、オンラインで参加する研究協議会が行われました。本校からは、高木校長と北條P T A会長が参加しました。P T A会長部会では、旭川養護学校P T Aの取組についての話題提供があり、各校のP T A活動と諸課題について協議がありました。全体講演では、宮城教育大学の寺本 淳志准教授から「重度肢体不自由児のICT活用～ご家庭での長期間にわたる実践から～」という演題で、ICTに関する実践例の紹介がありました。

「第66回全国肢体不自由特別支援学校P T A連合会

P T A・校長会合同研究大会（栃木大会）」

7月30日（日）～31日（月）に、全国の肢体不自由特別支援学校のP T Aと校長が参集して、栃木県総合文化センターにて研究大会が行われました。新型コロナウイルスによって昨年度はオンライン開催でしたが、今年度は久しぶりに参集での開催となりました。本校からは、高木校長と高橋副会長（中1）が参加しました。

大会の参加報告は、12月22日（金）に発行した第2回事務局だよりをご覧ください。なお、研究集録が学校に届いています。関心のある方は、教頭にお問い合わせ下さい。次年度は、石川県で行われる予定です。

「第58回北海道特別支援教育振興大会・第48回北海道特別支援教育関係

P T A研究大会 第23回合同大会（帯広大会）」

10月29日（日）に、北海道帯広養護学校をメイン会場に、各校はオンラインで研究大会が開催されました。

本年度と次年度の2年間、本校が北海道の特別支援学校のP T A連絡協議会の統括事務局校になっている関係で、北條P T A会長、高木校長、近藤副校長がメイン会場に参集し、越田教頭がオンラインで参加しました。研究会の参加報告は、12月22日（金）発行の第2回事務局だよりをご覧ください。なお、北條P T A会長には、大会長として、開会式の大会長挨拶と顕彰式の贈呈者の役割を行っていただきました。

(教頭：越田 淳)

おやじの会の活動について

昨年度から2年連続の夏祭りの開催および今年度は雪遊びを開催することができました。夏祭りでは綿あめとフランクフルトを用意し一つ一つできることを増やしていきました。ゲームやパラスポーツの体験コーナーをした後、最後は「動・夢・舞」様のよさこい演舞のステージで祭りが盛り上がりました。そして、「雪と遊ぼう」では、東海大学付属札幌高等学校野球部72名の高校生たちの協力で、滑り台、人間ばん馬、かまくらなど子供たちが楽しめるアトラクションを用意できました。当日も、子供たちと一緒に活動していただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。活動に参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。



(おやじの会事務局 朝見 圭祐)



<編集後記>

今年度も皆様のご協力のもと、PTA 活動を無事終えることができました。新型コロナウイルス移行に伴い、制限なしの行事開催、視察研修、各学年茶話会を実施することができ、コロナ禍以前のよう
な活動ができた1年となりました。

これからも、横のつながり、縦のつながりを大切にしながら、次年度も取り組みますので、ご協力、そして参加をよろしくお願いいたします。「真養だより」発行にあたり、お忙しい中ご協力いただきました職員の皆様方、保護者の皆様方に深くお礼申し上げます。



(小学部2年P 吉武 樹里)

北海道真駒内養護学校PTA

〒005-0011

北海道札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号

TEL 011-581-1782 (代表)

FAX 011-581-1892

ホームページ <http://www.makomanaiyogo.hokkaido-c.ed.jp>

